

『最新 使える！MATLAB 第3版』

コマンド・List 確認リスト

2026.1.28

この度は、標記書籍をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

第1刷、第2刷の書籍のコマンド・Listは、執筆時のバージョン（R2022b Update 2）に対応しております。

現時点（2026年1月末）での実行状況を確認したリストを下記に記載します。

修正が必要な部分については、第3刷（2026年3月4日）にて対応しております。

実行環境

OS : Windows 11 25H2

MATLAB : R2025b Update 3

第1章

コマンド確認状況

ページ	確認結果
p.13 (例 1.1)	実行確認済み
p.14 上	実行確認済み
p.14 中央	実行確認済み
p.14 下	実行確認済み (例 1.1 実行後)
p.18 上	実行確認済み
p.18 下	実行確認済み
p.19	実行確認済み
p.20 (例 1.3)	実行確認済み $A = [1\ 2\ 3; 4\ 5\ 6; 7\ 8\ 9]$ と定義しなおす必要あり
p.21 (例 1.4)	実行確認済み
p.22 (例 1.5)	実行確認済み
p.23	実行確認済み
p.24	実行確認済み
p.25 (例 1.6)	実行確認済み
p.26 (例 1.7)	実行確認済み $x2 = A1 \setminus b1$ の結果が 警告: 行列は、特異行列に近いが、正しくスケーリングされていません。結果は不正確になる可能性があります。 RCOND = 1.064312e-18 。 x2 =

	<p>1.0e+17 *</p> <p>0.1130</p> <p>-1.1303</p> <p>2.5432</p> <p>-1.5824</p> <p>と異なる (CPUに依存?)</p>									
p.27~29 (例 1.8)	<p>実行確認済み</p> <p>i = 2;</p> <p>F = [1+i, 2+3i;3+2i, 4+5i]の結果が</p> <p>F =</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>3.0000 + 0.0000i</td> <td>2.0000 + 3.0000i</td> </tr> <tr> <td>3.0000 + 2.0000i</td> <td>4.0000 + 5.0000i</td> </tr> </table> <p>となる. 3.0000 + 1.0000i → 3.0000 + 0.0000i</p>	3.0000 + 0.0000i	2.0000 + 3.0000i	3.0000 + 2.0000i	4.0000 + 5.0000i					
3.0000 + 0.0000i	2.0000 + 3.0000i									
3.0000 + 2.0000i	4.0000 + 5.0000i									
p.29	実行確認済み									
p.30	実行確認済み									
p.31	実行確認済み									
p.32 (例 1.9)	実行確認済み									
p.33 (例 1.9)	<p>実行確認済み</p> <p>title(strctm.Comment) → title(strctm.Comments)</p>									
p.34 (例 1.10)	<p>実行確認済み</p> <p>コメントが以下のように異なる</p> <p>次を使用中のエラー: vertcat</p> <p>連結する配列の次元が一致しません。</p>									
p.35 (例 1.11)	<p>実行確認済み</p> <p>cel_1 = cel_1(2,3) → cel_1 = cell(2,3)</p>									
p.35 (例 1.12)	<p>実行確認済み</p> <p>実行結果が</p> <p>ans =</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>1.0000</td> <td>0.6557</td> <td>0.9340</td> </tr> <tr> <td>0.7922</td> <td>0.0357</td> <td>0.6787</td> </tr> <tr> <td>0.9595</td> <td>0.8491</td> <td>0.7577</td> </tr> </table> <p>と異なるが, cell{1,2}が rand 関数で生成されているので OK</p>	1.0000	0.6557	0.9340	0.7922	0.0357	0.6787	0.9595	0.8491	0.7577
1.0000	0.6557	0.9340								
0.7922	0.0357	0.6787								
0.9595	0.8491	0.7577								
p.36 (例 1.13)	<p>実行確認済み</p> <p>実行結果が</p> <p>tbl =</p> <p>7×3 table</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>data1</th> <th>data2</th> </tr> <tr> <th>—</th> <th>—————</th> <th>—————</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.72689</td> <td>0.046171</td> </tr> </tbody> </table>	No	data1	data2	—	—————	—————	1	0.72689	0.046171
No	data1	data2								
—	—————	—————								
1	0.72689	0.046171								

	<p>2 -0.30344 0.097132</p> <p>3 0.29387 0.82346</p> <p>4 -0.78728 0.69483</p> <p>5 0.8884 0.3171</p> <p>6 -1.1471 0.95022</p> <p>7 -1.0689 0.034446</p> <p>と異なるが、data1 が randn 関数で、 data2 が rand 関数で生成されているので OK</p>
p.37 (例 1.14)	<p>実行確認済み</p> <p>実行結果が異なるが、生成された tbl が異なるので OK</p>
p.38 (例 1.15)	<p>実行確認済み</p> <p>実行結果が異なるが、生成された tbl と clm_ave が異なるので OK</p>
p.39	<p>実行確認済み</p> <p>rand(2)以降は、実行環境によって結果が異なるため、表 1.6 の実行結果を実行結果例に修正する。</p>
p.41 (例 1.16)	<p>実行確認済み</p>
p.41 (例 1.17)	<p>実行確認済み</p>

第2章

コマンド確認状況

ページ	確認結果
p.51	実行確認済み
p.52	実行確認済み
p.53 上	実行確認済み
p.53 下	実行確認済み
p.54	実行確認済み
p.59～p.61 本文	実行確認済み
p.62	実行確認済み
p.63 本文	実行確認済み
p.64 本文	実行確認済み

List 確認状況

ページ・List 番号	確認結果
p.47 List2.1 dataimport.m	実行確認済み
p.57 List2.2 import_graph.m	実行確認済み

第3章

コマンド確認状況

ページ	確認結果
p.66	実行確認済み
p.67	実行確認済み
p.67~71	実行確認済み
p.73 (例 3.1)	実行確認済み
p.73 (例 3.2)	実行確認済み
p.74 (例 3.3)	実行確認済み
p.75	実行確認済み
p.76 (例 3.4)	実行確認済み
p.78 (例 3.5)	実行確認済み あらかじめワークスペースをクリアしておく必要あり
p.87	実行確認済み
p.90 (例 3.9)	実行確認済み

List 確認状況

ページ・List 番号	確認結果
p.82 List3.1 Grh_deco.m (例 3.6)	実行確認済み 16行目 omg→omega 20~22行目 omg→omega 25行目に grid minor を追加する.
p.84 List3.2 prop_deco.m (例 3.7)	実行確認済み あらかじめワークスペースをクリアしておく必要あり
p.86 List3.3 rocket.m (例 3.8)	実行確認済み 14行目の hold on を plot3(x,y,z)の後に記述する.
p.89 List3.4 electDipole.m (例 3.9)	実行確認済み p.93 のコマンドで使用
p.91 List3.5 squareWave.m (例 3.10)	実行確認済み

第 4 章

コマンド確認状況

ページ	確認結果
p.97	実行確認済み
p.101 (例 4.1)	実行確認済み
p.102 (例 4.1)	実行確認済み
p.104 (例 4.2)	実行確認済み
p.107 (例 4.3)	実行確認済み
p.113 (例 4.4)	実行確認済み
p.120 (例 4.6)	実行確認済み
p.127 (例 4.7)	実行確認済み
p.130 (例 4.8)	実行確認済み f = 値をもつ function handle : @sin コマンドに記載されている. → 計算結果に記載
p.131 (例 4.9)	実行確認済み

List 確認状況

ページ・List 番号	確認結果
p.98 List4.1 calCircle.m	実行確認済み
p.100 List4.2 solvMatrix.m	実行確認済み (例 4.1 で使用)
p.103 List4.3 myHorner.m	実行確認済み (例 4.2 で使用)
p.106 List4.4 solvJacobi.m	実行確認済み (例 4.3 で使用)
p.109 List4.5 solvGassai.m	実行確認済み (例 4.4 で使用)
p.111 List4.6 solvIteration.m	実行確認済み (例 4.4 で使用)
p.116 List4.7 solvSOR.m	実行確認済み (例 4.6 で使用)
p.121 List4.8 solvSORerr.m	実行確認できず
p.125 List4.9 bisec.m	実行確認済み (例 4.7 で使用)
p.129 List4.10 func_hand1	実行確認済み (例 4.8, 4.9 で使用)

第5章

コマンド確認状況

ページ	確認結果
p.136	実行確認済み
p.136~137	実行確認済み
p.138 (例 5.1)	実行確認済み
p.140 (例 5.2)	実行確認済み
p.143 (例 5.3)	実行確認済み s = 1.0765→1.076482802694102
p.144	実行確認済み s = 1.9998→1.999835503887444
p.146 (例 5.5)	実行確認済み
p.151 (例 5.6)	実行確認済み
p.153 (例 5.7)	実行確認済み
p.154 (例 5.8)	実行確認済み 状況によって実行結果が異なるが OK

List 確認状況

ページ・List 番号	確認結果
p.138 List5.1 diffb.m	実行確認済み (例 5.1 で使用)
p.139 List5.2 gradient1.m	実行確認済み (例 5.2 で使用)
p.142 List5.3 areaInt.m	実行確認済み (例 5.3 で使用)
p.149 List5.4 rom_int.m	実行確認済み (例 5.6 で使用)

第 6 章

コマンド確認状況

ページ	確認結果
p.161	実行確認済み
p.163 (例 6.1)	実行確認済み. あらかじめ, ode_test.m の 7 行目をクリックする. <code>7 df = exp(-t).*cos(t) - exp(-t).*sin(t);</code> <code>K>></code> のあとに, size(t)を入力する必要あり
p.164 (例 6.2)	実行確認済み
p.168	実行確認済み <code>@vspring</code> → <code>@vspring1</code>
p.170	実行確認済み

List 確認状況

ページ・List 番号	確認結果
p.161 List6.1 firstOde.m	実行確認済み (p.161 で使用)
p.162 List6.2 ode_test.m	(例 6.1 で使用)
p.168 List6.3 vspring1.m	実行確認済み (p.168 で使用)
p.169 List6.4 vspring2.m	実行確認済み (p.170 で使用)
p.173 List6.5 FreeOscil.m	実行確認済み (List6.6 で使用)
p.174 List6.6 FreeOscil_Displace_Test01.m	実行確認済み

第7章

コマンド・モデル確認状況

ページ・Simulink ファイル	確認結果
p.185 first_model.slx	実行確認済み
p.187 first_model2.slx	実行確認済み
p.194 図 7.25	実行確認済み
p.194 図 7.26	実行確認済み
p.198	実行確認済み
p.201 振り子モデル	実行確認済み
p.204 簡易 DC モータモデル	実行確認済み
p.209 HarmOscil.slx	実行確認済み
p.211 図 7.48	実行確認済み

第 8 章

コマンド・ブロック線図確認状況

ページ	確認結果
p.213 (伝達関数)	実行確認済み
p.213 (ステップ応答)	実行確認済み
p.215 (伝達関数)	実行確認済み
p.215 (ステップ応答)	実行確認済み
p.216 (例 8.1)	実行確認済み
p.218 (例 8.1 別解 2)	実行確認済み
p.219 (例 8.2)	実行確認済み
p.220 (例 8.3)	実行確認済み
p.220 (例 8.4)	実行確認済み
p.221 (例 8.5)	実行確認済み
p.221 (例 8.6)	実行確認済み
p.222 (例 8.7)	実行確認済み
p.224 (例 8.8)	実行確認済み
p.226 (例 8.9)	実行確認済み
p.226 (例 8.10)	実行確認済み
p.227 (例 8.11)	実行確認済み
p.227 (例 8.12)	実行確認済み
p.228 (例 8.13)	実行確認済み
p.228 (例 8.14)	実行確認済み nyquist 関数と bode 関数の間に figure を挿入すると 2 つのグラフが同時に表示される
p.230 (例 8.15 K=30)	実行確認済み
p.232 (例 8.15 K=3)	実行確認済み
p.233	実行確認済み
p.234 (例 8.16)	実行確認済み
p.235 (例 8.16)	実行確認済み
p.237 上 (例 8.17)	実行確認済み
p.237 下 (例 8.17)	実行確認済み
p.238 (例 8.18)	実行確認済み
p.239 (例 8.19)	実行確認済み
p.241	実行確認済み step 関数と bode 関数の間に figure を挿入すると 2 つのグラフが同時に表示される
p.243	実行確認済み step 関数と bode 関数の間に figure を挿入すると 2 つのグラフが同時に表示される
p.246 (例 8.20)	実行確認済み
p.248	実行確認済み